

私と図書館それから読書

図書館長 沖花 彰

高3の日曜日はたいてい市立の図書館通いをした。朝開館9時前に行くとなすでに数10人の受験生が入口で参考書を眺めながら座りこんで開館を待っていた。開館と同時に一斉に自習室の「いい席」を確保した。開館30分もするといつも席は満席だった。お昼は荷物を置いて自宅に戻り、午後また図書館に戻り閉館まで居座った。大きな自習室は水を打ったように静かで、ときたま疲れて目をあげるとみんな思い思いに自習していて、その緊張感と窓の外に映る緑が好きだった。

かといって高校まではほとんど読書はしなかった。大学生になったら阿部次郎の「三太郎の日記」を読まなければいけないと誰かに言われ入学早々買ったが最後までは読まなかった。外国文学はキリスト教を知らないとだめだなと思った。はまったのは1回生のとき受講した阪倉篤義先生の「日本文学」で明治から大正までの作品を紹介するものだった。森鷗外は医者のおぼんおぼんのようでもまいち好きではなかった。夏目漱石は好きだったがどうしてこの人は人の心をここまで深読みするんだろうって思った。心酔したのは何と言っても芥川龍之介で「理知の私に教えたものは畢竟理知の無力であった」とか「刹那の感動」を知るとやたら畢竟とかを使いまくる賢い人ってこういう人なんだと神様のように祭りあげた。とにかく格調高くなければならないと文庫は岩波以外は手にしなかった。本は財産の一つと考え貧乏学生のくせに借りずに買ってきて岩波文庫を緑帯、赤帯、黄帯、白帯、青帯とジャンルごとに本棚に並べては悦にいていた。大学院に入るとまた読書から遠ざかっ

てしまった。

研究生活では文献探しに全国共同利用の大阪大学核物理研究センターの図書室に終日缶詰となった。研究テーマに関連する雑誌を数冊探し、それらに一通り目を通す。リファレンスを見ては開架書庫の雑誌を探す。リファレンスのさらに引用一孫引きもしょっちゅうである。我々の分野の雑誌は限られており大抵はそこに収められているので探すのは苦労しない。10冊近くまとめて取り出しては机に広げてざっと引用部分に目を通す。持ち帰って詳しく読む必要のある論文を備え付けのコピー機で複写する。1日で10数部コピーする。研究所の図書室なので関係者以外は出入りはなく、たいていは部屋に一人ということも多かった。

私のこれまでの図書館とのお付き合いはおおよそそのようなものであった。図書館ではつねに緊張感を求めた。いまでも自宅ではいっさい仕事をしないと決めているのも、自宅ではそういう緊張感が得られないからだと思う。

最近になってまた少しずつ読書をはじめようになったのはTさんのおかげである。Tさんの薦めるものにはずれはなく、決まって電車の中でマスクに隠れて涙目になった。前に座っている若者がスマホに没頭しているのを見るとおせっかいながらなにかもったいないことをしているなあと感じてしまう。

4月から毎日図書館を一巡するようになった。学生の動線に図書館をどう組み入れていくか、学生の生活に読書がどう入り込んだらいいか考える毎日である。

講習会のお知らせ

図書館では今年度も、さまざまな講習会を予定しています。知って損はありません。ぜひご参加ください！

(※内容・日時等は変更になる場合があります。最新情報は図書館ホームページや掲示等でご確認くださいね！)

《一覧表》

区分	講習会名	内容	実施期間	授業	レベル
論	CiNi (応用編)	CiNi を賢く便利に使おう	4月27～5月8日 (土日祝除く)	●	★★
本	OPAC 図書 (応用編)	いろいろな資料の探し方	4月27～5月8日 (土日祝除く)		★★
新	新聞データベース	新聞記事を検索する、読む	5月11～15日		★★
本	ジャパナレッジ	辞事典を検索する、読む	5月11～15日		★★
館	国会図書館の利用法	日本最大の図書館を活用する	5月18～22日		★★
論	オープンアクセス論文	無料で読める論文を知る、検索する	5月18～22日		★★
論	エブスコディスカバリーサービス	さまざまなデータベースを一括検索する	5月18～22日	●	★★
論	海外論文 1 (EBSCOhost)	EBSCOhost で海外論文を検索する	5月25～29日		★★★
論	海外論文 2 (その他)	ScienceDirect, Springerなどで海外論文を検索する	5月25～29日		★★★
ソ	Word 講座 (論文執筆編)	論文を書くときに便利な Word の機能を紹介する(基礎的な使い方は行いません)	6月2～5日		★★
集	文献管理編	集めた論文を管理する	6月2～5日		★★★

表の見方

区分：「館」＝図書館利用 「本」＝図書の検索 「論」＝雑誌論文の検索 「新」＝新聞の検索
「集」＝資料管理 「ソ」＝ソフトウェアの使い方

授業：授業の中で行うことのある講座です。

●＝ゼミ単位のガイダンスでの基本指導内容。

実施予定があるかどうか、指導教員に確認してください。

レベル：★＝初級 ★★＝中級 ★★★＝上級(ただし、あくまで参考程度です。必要な分野は専門により異なりますので、自分に必要と思うものを選んで受講してください。迷う場合は、指導教員や図書館員にご相談ください。)

集合場所

北館 2 階ラーニングcommons

申込方法

氏名・専攻・希望講座・日時を明記の上、下記までお申し込みください。
複数の講座にお申し込みできます。

申込先

library@kyokyo-u.ac.jp (附属図書館) 申し込みなしの当日参加も OK です！

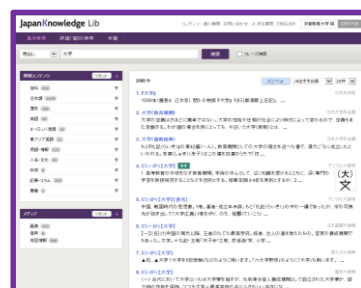
ジャパナレッジ講習会

日時：5月13日(水) 12:30～13:20

場所：北館 2 階 研修セミナー室

対象：学生・教職員 (学内者であればどなたでも)

事典・辞書などの情報検索データベース「ジャパナレッジ」を運営する(株)ネットアドバンスから講師を招き、ジャパナレッジを使ったレポート作成術などの講習会を行います。



併せて、下記の期間にジャパナレッジ等の同時アクセス台数を増やします。

普段 1 アクセスのみのデータベースが、なんと 51 台同時アクセス可能に！ぜひこの機会にご活用ください。

拡大期間：5月11日(月)～15日(金)

対象データベース：ジャパナレッジ、聞蔵Ⅱビジュアル (朝日新聞記事検索)

PickUp! コ～ナ～ 「ラーニング commons」

先月、北館 2 階のラーニング commons に、Excel や Word などのソフトウェアの解説書コーナーを新たに設置しました。

パソコンを使っている時に起こる「どうして？」「困った！」をその場で調べられます。また、レポートや論文を書くときに便利な Word の本や、統計を取るときに便利な Excel の機能などを解説した、大学生生活に役立つ本なども置いてありますので、ぜひ手にとって見てください。

図書館員のつぶやき (5)

「知識の宝庫・ジャパンナレッジ」

ジャパンナレッジのログインボタンの上、[HOME] タブをクリックすると、「日本語、どうでしょう？」や「これ何？図鑑」などのコラムがあります。ここはログイン画面の前なので、同時アクセス数を気にせずいつでも読むことができます。まさに、知識・雑学の宝庫！



こんな本を PickUp !

『学生に役立つ Word & Excel & PowerPoint』

請求記号：007.6||F67

初めての基本操作から、応用、プレゼンの流れまで解説されています。



『Excel によるアンケート調査の第一歩』

請求記号：417||TS41

論文執筆などでアンケート調査を考えている人は、ぜひ一読を。



さて、問題です。

皮をむいたみかんのまわりに付いている白い繊維のような筋の名前はなんでしょう？答えは、「これ何？図鑑」の第 115 回で。

※コラムからジャパンナレッジの本文にリンクしていますが、個人用ログインですので利用できません。

[学校・研究機関での利用] タブからログインして検索し直してください。

告知 防煙・禁煙教育教材展

【主催】「教員養成系大学における喫煙・飲酒・薬物予防教育のアプローチ」プロジェクトチーム
京都教育大学保健管理センター

【日時】2015 年 6 月 1 日 (月)～6 月 5 日 (金)
10:00～16:00

【場所】附属図書館北館 1 階 企画展示室

ぜひ、
ご覧ください！

えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、
5月18日(月) 15:00～です。



『あひるのバーバちゃん』

神沢 利子 作；山脇 百合子 絵

今月の
絵本カードは
こちら！

★おすすめポイント★

やさしいバーバちゃんのおかいものが
すてきなイラストとともに えがかれています。
おだやかな きもちになれる 1 さつ に なっています。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。
このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

4 月から、教育資料館 まなびの森ミュージアムのホームページに「今月の逸品」という新しいコーナーが出来ました。毎月 1 点ずつ所蔵資料を紹介していますので、どうぞお楽しみに！

<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **榊原 禎宏** (教育学科 教授)

**「南西ドイツにおけるGemeinschaftsschuleの創設
ーバーデン=ヴュルテンベルグ州での試みー」**

榊原禎宏

京都教育大学紀要. 2014, No.125, pp. 47-62

現在、南西ドイツのバーデン=ヴュルテンベルク州では、歴史的な統一学校運動や総合制学校と発想上の接点を持つ Gemeinschaftsschule (GMS : 「共同体学校」) が急増しています。この背景には生徒数の減少と基幹学校の再編もありますが、2011 年の歴史的な政権交代により、学校制度を通じた生徒の社会的統合と分化という、教育学の基本テーマに関わる大きな試みが行われているのです。

学校段階が上がるにつれて、各生徒の資質や個性を伸ばすことと、彼らを市民や国民として「一人前」に社会化することとの葛藤が生じます。前者を強調すれば学校種別や学校内コース別に応じて生徒を分ける方向をとり(「個に応じた指導」)、後者を強調すれば彼らの多様性にも関わらず、あるいは多様だからこそ共同や協調を求めるのです(「仲間づくり」)。中等教育論のこうした構図の中で、今の政権は多様な生徒が共に学んでこそ個々の能力を高められる(“Vielfalt macht schlau”)という論理にもとづき、それがより実現可能な場として GMS を位置づけています。

一方、議会では政党間の対立を生み、また市町村からは同校設置の申請、文部省の認可、新制度の始動という、学校理念の主張と衝突、制度上の設計と運用、実態の多様性といった動きを、つぶさにかがえる状況にあります。

そこで本論では、その進展を追う最初の報告として、同州の GMS を支える基本コンセプト、すなわち連帯、異質性、達成、責任、生涯学習、効果や参加がどのように捉えられ、学校教育を通じた社会的公正の実現と個々の生徒の育成が両立するものとしていかに描かれているのかを、整理しています。公教育の主たる場である学校がどのような理念と制度によっていかに現実のものとなることが期待されているのか、そこでの葛藤はどのようなものか、理解を深めたい人にぜひ読んでほしいと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 125 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2015年5月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2015年6月

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

6/1 創立記念日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード →



京教図書館 News No.176(2015年 5月号)

発行日:平成 27年 5月 1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp